

バストス週報

第百五十二号
1952年1月13日

登録名義人 森重一
発行所 バストス自治会

60.00
70.00

一頁取振者 洛電作市
編集所 南田商店内
印刷所 バストス週報社 C.P. 112

バストス農村人に訴ふ

中島善次

(一)

先日、週報の編輯をやつてゐる友人がやつて来て専務理事になつたのなり、なつたように何か所感を述べたりさうだ。結構何を言ふらしく位言つても別はあたるまいと言ふので考へて見たが、成る程専務の席にある以上、左様に言はれても別に異論はないが何かしら官僚意識といふか、それになつた感じが出て一寸いやな感じがした。しかしこれは私の受けた感じであつて編輯者の意見は当然の要求だ。たかもしれないうち、今度の選挙に就ては總會教日前から三三の人々より是非今一度戻つてやつてくれと懇切な依頼があつた。私としては外債内債の処理案とそれに伴ふ再建の計画と実践を想ふとき、此の場に臨んで談する私自身が金も身務もいふ重要な持主をかかぬことは全くの所自任も無かつたので、断りに断りを以てしたが選挙の前日五候補のシヤツパの決定を見たの報に於方なく承諾をせした。茲に到つて選はれた今日浅きに頼りちへストを盡し、せめても地に爪あと位は残したいものと念するに至つた。

六年前迄バストス産組専務所に籍を置いていた私にとっては、今ここに昔の否も果に止つた形である。昔日の隆盛は今日の荒廢のその中に机椅子棚金庫も古臭と二ニの旧友が昔のまゝに私を迎へてくれ、それらに眼を転じてゆく時唯々懐しく今昔の感と深くすると同時に眼に熱いものがこみ上げてくるのを禁ず得なかつたのである。聞くところによると移住地の中にチエテ

専業組合は早くも再建の迷音高しと十八年前当バストス産業組合が専先して脇山桑原の両氏によつて設立と見せす今日迄数多の波乱はあつたが、今日の荒廢振りは、さうであらうか。終戦後の經濟界のバニツクはよん所無しといへ、この僅では、脇山等が金銀を懸けた専業に對し、如何に之報中べきで、肅然たる物がある。

脇山氏専務にとつて御志を固くした關係もあり、是れ種々想出下り人である。組合にあつては彼等たる理事長だつたが山に疾れは百端思存に有り得た人、寒者風雨を通じ毎朝憂馬にまたがり予も腰辨で出勤されたあの姿、... 事務所内は鉛筆の走る音も聞かされる程の静けさと秩序とであつた。一人断りと思つたら其の場はさうさう押し功る烈しい性格の中に専業に及ぶさし、己の非を見出せば、あつさりその非を詫する相量の持ち主であつた。

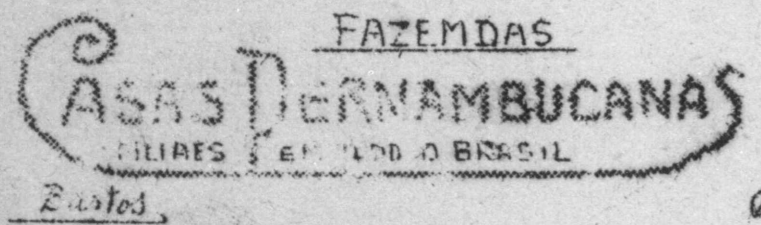
カーザス・ペルナンブカス

は愈々西隣の角へ移轉いたしました。同時に新柄、夏も

の多量陳列して皆様の御来店を待ち申して居ります。

日頃の御愛顧に報ゆる為め、皆様の勉強を致します故、倍回の御引立ありんことを

店主及店員一同



(前頁より) これは佐々福太郎氏が聞いた話だが戦争中聖市に駒山氏が監禁されてた折福太郎さんは組合を代表して面会されたことがあった。その二時間余の面談中、組合は其の後どうだ、プラ松園係はどうなってる、其終始組合の事のみならず、其の一言も家庭の私事に言及されなかつたといふ、いかにも駒山さんらしい遠慮と思ふ、氏の半生は全くわが育て予のバスター産業組合の校士たる隆登への道に、似た向きの努力と情熱を以てして通じた。組合は農村の共同体であり共存共栄をシンボウとする団体である。

その共同体である以上協力と秩序、責任と自由を以て常に向ふと計り、真の理想郷であり平和郷を築き上げる事が組合の目標でなければならぬ、そこには他の資本家の策もなく、むしろ資本家と農民の協同の力や対等の位置を獲得することが出来るのである。又組合は誰彼のものでもない組合員自体のものである、従つて茲に如何なる事業計画と樹てるにも真の協力と秩序、責任と自由(特に言論)なくしては向上もなく再建は其の速かに過ぎない。生か死か? 五年前に私等は生と選べば再建を固く誓つた過去、それは文字通り過ぎ去つた事の意である、私は過去のいまわしい幻影に何時も捉はれることなく、一日早く過去の、それ等踏躓と良き教訓として生かし再建の道に邁進せよはるると思ふ(次号を以て完結)

— 筆者バスター産業組合新専務 —

市街地家屋タツタ

至急譲りたし

- 一、場所 アネマルバロス街(シネマ館前)
- 一、家屋は道路より六メートル引、広さあり、利用価値多し
- 一、思ひきつて格安に手放します故、左記へ御来談下さい

石レンテ ウアルガス街
アソギ O.K 内 河 戸 迄

下まい子郵便 市しらせ
受取人 差出人

遠藤常治	秋田 石丸リヲ
坂本ウツ	山口 石丸博仁
森下竜雄	熊本 森下正人
森中兵吉	不明
中浦伊勢松	生長の家
小田健吉	コナエ 小林
湯原梅吉	保済会社
朱四	
山川一豊	
中島安次代	

右郵便物はクレイオにて郵便に入れること能はず、植木商店に保管してあり、すばやく御心当りの方は早くおかけ下さい(係)

急 土地格安に譲ル

- 一、場所 ノーホエスベランサ(一〇七〇八)地区
 - 一、面積 二十アルケレス(センチメートル)
 - 一、桑園 三アルケル半
 - 一、バスター 三アルケル半(セルカード)
 - 一、果樹 蜜柑、パイナップル等三百本
 - 一、住宅 十二米突×七米突(炊事場、別室、浴室付)
 - 一、養蚕室 五十米突×六米突
 - 一、租蚕室、馬車小屋、倉庫等完備
- 完備は農耕地、他、轉任、為し格安に譲ります
- 井戸、風呂場、家統より便利

木林下 満次

伊勢神宮遷宮寄付ノ切
か収めて伊勢神宮遷宮費寄付金ノ一般より申請して戻りました所此の程、同奉賛會伯國支那(在聖市)より来る一月十五日迄にメかる旨通達に接しましたので寄付済みの方は至急石橋事務所迄申請下さい

談 対 バストスむかし嘸し

糸音と紀南子

(九)

初期の産組つゞき

(糸音) 抜け賣り抜け買ひと認めて貰い度いといふ虫のよい提案が出て而も中々珍味が強かった。初期の組合精神と云来するものでありう。定款には販購買の規定に別則追加してあったが理事監督その他もろくの役員迄文字通りに規定が守れず勸業部は青木林蔵さんに冷かされ通し、コイヤの下元事務などは痛烈に役員を面罵した。だから元さんがバストスにやってくる役員達は首を垂らした。それもその筈、バストス産組の組合員と言ふと街の大小商人、非農業者もバストス一元化の爲めには一網打盡にかまこまされてゐるから堪らない。青木林蔵の言葉と籍ると産組強化の爲めには街の商人の野た北死くらひは我慢せねばならぬ、だが商人は野た北死はしたくないから躍起となって反産分子を、けしめろのである。バストス一元化の爲めには味噌と糞も……このあたりは大改訂賛式色彩があり一寸平凡な頭では割りの水、下元青木等の痛罵冷笑と買ふ所以となつてしまつた。ところが之を強引にやつてのけたのだから当時の理事は保物揃ひであつたと言えぬ事もない。

ムラ招は商店部と精米所をまつさきに産組に移管し病院精油精搾製粉の諸工場を無料貸付したため外觀的にはバストス産組は正に全伯一の偉容、吸風に帆といふ發展振りであつた。

◎製糸王国

の建設譜

(紀南子) 製糸工場の話が今までおなかつたおですが、
(糸音) 専ら海外でよく知らぬ、谷口

んが場長で今堂のたる経営振りだが一九三三年頃から養蚕家は数家族いてカンビラスの蚕種と高柳指導員が世話をしてやつてゐた。上田平吉、今は白髪のお翁といふが三十年前、四十歳旅の働き盛り、飲み盛りに入らぬ入りをして今の製糸工場の基礎を作つた。ところが上田さんは事業家肌の男で採算と度外視する癖あり、君に一切委せるといつたかどうか知らぬが製糸工場を完成せんとして、おしく金を使ふ。上田に云わせは日本の四舎の五十や百等の小工場でも五萬七万の端した金ではない、おしくお招が製糸を建てるといふのに物置小屋同然でもあらまい、便所や風呂を建てるも一々予算抜かすは仕事が出来ると、おしく自分やつてのけた、事務所の末帳會計は帳簿と睨み合ひ、お面を監督するの、遂に両者は正面衝突をやつてしまつた。



棉

棉を害中燃より守れり。

アルセニアット

キシニホ

ホ

在庫品に限り元價を割つたよう
な安い値で差上げます

お早い勝ち

前山商店

アレスニテ ヴァルガ人街

(バストス音話のこき)

この通り、製糸事業の大き敷しいところの上
田の慧眼はエスベラサ区の地味が悪くて、
返植者の多い土地とすや桑園には立てあけ
養蚕家を入植せしめて製糸工場運営に
欠く可からざる備の確保を、はかたり、日
らアルト区の放棄地区に蚕室を建てて、歩
合作者を集めたり、実に手際の良い所を見
せたものである、だが其の爲めに首の廻り
ぬ借金を買ひこは毛頭考へたことはい
さんすわけ上田は畑を支配人に引導を渡さ
れて製糸と去り別な絹織物工場を經營
して一寸は世と斯界に出出した。

製糸は養蚕家ばかりの組合と組織して
久リア区の吉浦香次郎氏を事務に推し
て經營したり、其後谷口章 君と遊へ
て再びスラ拓の直營にしたり、随分苦難
の途を歩みつけた、バストスが明朝にな
ったり暗黒になったりする原因の一つとして
製糸工場の所在は実に經濟的に偉大な
役目を果して来たのである、内部のことは
知らぬが男女従業員二百數十名と、その
家族が街一帯に暮らしている丈でもバスト
スの經濟力の源泉でなくてはならぬであらう。

(紀南子) 鶏の尸史は？

(糸主音) ハ……バストスの養鶏は尸史の
内には、はいり人よ、一番古い養鶏家なり知
つてゐる、カスカク区の渡部武助老た
悴のペウロが産音連の幹部を動かして
有事農と指導したのは有名な話だが、
昔話にしてはちと新しすぎる。

(紀南子) まだささき度いことが沢山あるのだ
が、羽陰經營のことや、そのほか……

(糸主音) いかん、越田ドールの事でも
書こうものなり、乾分の佐々木南天子にど
やされる、今日五嵐にフルマリアで成功し
るが、活射の仕方を知らないで越田先生の
靴を下して歩いたことなへが話さうものな
ら、大変なことになる、まあ此の辺でかんべ
んしてくれ給へ

(紀南子) やア、いろいろありだとう、また折見
てバストス税吏を人まゝいふのさたのみです
(一完)

養蚕家冬位へ

- 毛糸を買入北ます故
- 粗末になさらず所持を下さい
- ふとん 綿製造
- 古綿 打直し
- 特製絹わた製造

佐迫製綿所

中學生を求む

バストスのバジオ四年生又は三年生
で明朝を方き一人希望している先があ
ります、條件は住込みの去来する人であ
れはよろし、待遇のこと、其他等ききに
なり度い方は、週報社ヲタを中野町下
宮へ行ってから慌てないで、
御用命は、お早い程、行徳です



ピント郷化場建設

去る一月五日バストス産業組合養鶏部座談
会には中興会より小倉住古氏の出席あり、
バストスの養生の爲めにピント郷化場建設に
努力する旨説明あり、モジタスの築野養
鶏場より特に種鶏の配給を受けよう援助あ
る旨発表があつて大々セイションを起した、之
が実現の腕にはバストスの養鶏は本格的な
飛躍をとほることになるであらう、因にピ
ント場の主任はバストス自身の富岡青年の由

仙人掌社新年俳句會

サボリ社では去る一月六日新年俳句會と
値し、盛大であった、当日の作品左の通り

- 大魚句 喜ぶもほも此の部屋 初層 小波
- 鶏飼ひの炭場と白餅りり 枯木
- 五点句 咲き競ふ珠に葵の紅強く 稲花
- 四点句 岩水や恥多き身を拭ひて 北風
- 甲斐武と捨て国は興らばや 春歩
- 子の代となりて雑煮もなかりり 耕雨
- 盛装で卵馬車 初荷哉 奇峰

ダンス是非か (四)

大いにやる可し論……

時、一九五二年一月六日

場所、バウル市、ホテルアメリカ食堂

人物、長沢滋青、笠井半雨、木音、富田

(木音) 今日の句會場にダンスレコードが沢山あり電氣蓄音機まで用意してありましたが何といふクルーズですか、外人のクラブですか

(滋青) クルーズ、オリビック、モスボルチン、バウル市青年団の登録名です、日本人会も文化協会といふ名で登録されております

(半雨) 日本人会と青年会とは親子の関係にあるので、セーターも共同で使用します、青年会員は十八歳から、男女とも入会します、野球、卓球、庭球、バレー等々やることになっております

(木音) バレーはこんな風によつて居りますか(滋青) はい、めい、日本人会でもかまきやらせるとについては大分反対もありまして中々まとまらなかつたのです、頭から押へつけてしまへば、かくれておまかけるようになり、かへつて爪掻きと乱すといふので昨年からクルス内にこれをとり入れ有志が五百円づつ募金して電氣蓄音機を買いました、一月に一回宛、監督がきややつて居ります

(半雨) 今では大分りに反対する人がありませんが、やはり自分の娘も、さういふところへは出し度くない親もあり、日本人會の方から毎回二人づつ責任者が出張して、見せぬからといふ条件ですが、私等踊り屋のいのに、馬鹿らしいと思ふが、人様の娘をいふに預りしたといふ責任感から一番しつこいお茶をいしてゐるんです

(木音) 何人位集りますか
(半雨) 初の内は女が六十人位、男が三十人、お笑やその三十人の内、踊り屋の人が半分位で、お茶には困った

(滋青) 僕は踊り屋の青年に、お茶をいしてすまんが、あの娘と一度踊つてよけなさいその次は、こちらの娘さんにも、と一々世話をやいて、まんべんなく行き渡らうように努めるんだ、之も一仕事だわ

求人

- 一、将来商業を志す青年数名
- 一、年齢十七歳より二十五歳迄
- 一、身元保証人を要す
- 一、身体壯健、まじめな人

御希望の方は左記へお出で下さい

ソウバン市 アイモリー街六二三

カーザウニベルサル

土田 辺

○新市長就任祝賀懇親會

バスホ、新市長リ、テロトナ、ペイショット氏、来る一月十六日午後八時より池田ホテルに於て就任祝賀の宴を張ることになつた、此の機會に市議連とも胸襟を開いてバスターの爲めに、まき政務といふので、新年祝賀懇親會と銘打つて大いに懇談する由

週報歌壇

元旦詠 森重羊鈴

つつましく祈り終りて新年の空を仰けは 今し明けゆく

東雲はほのかに白み大いなるこの天地の朝あけに行つ山嵐は低く大きくひろがりて地平を除々にのほる旭日

さほろ狂歌

茶に笑ひ酒に唄いぬ松の内 井蛙
 初髪に蝶々リボンのきりけり 余満
 激雷と激雷の同の一聲止 紀南子
 好古風妹戦後風立葵 菊子
 遠雷にふと旅にあさ子さほろ あづま

(糸音) 現在もそんな程度ですか

(湯青) どういたしまして、タングでもモナでも一流ですよ、どうして覚えるのしりんが何だか新しいモーカだ相で、とても上手です、

(半雨) 二例の青年会の会長は年が若いので十二時開會といっておきながら一時にもなるので注意したところ、興がのつてくると、あともう一枚此のジエッだけ、かけさせて、ふので許すと、さア大着だ何べんも何べんもアールして

とうく、一時に帰ってしました。今年も会長が代って俳句仲間舟橋川水志です、これはしつかりしてゐて時間がくると、さうさうとピストローラに鍵を掛けてしまつて、さで比おん、もう、いかり帰ります、西親に心配かけつけてはいけません、……

(糸音) 今日白会に居たあの舟橋さんですか中々やります、それバイレー毎に許可をとるのですわ、

(湯青) いやッラズ規定ですか許可はいりません、カルパールの時だけ、センサを受けります、

(糸音) 伯人は来ませんか

(半雨) 銀行の人達やその他二三の男女が招待するは来る程度で、吾々がめん、やつてゐても覗きにも来ません

(湯青) 何しろ大バールですから、日系が少々やつておたとして珍らしいでせう、彼等は彼等のクルーフで、悠々とやつておます、日系の方にも、そちらの方へ行かぬよう、や

つは、親の身としては日系は日系同志といふ、頸がつかんでせう、

(糸音) バールのよう、大部會なり日伯入りおれ、と思ひましたが、案外その方面は細心なんです、封主さんて、お分はあり

ませんか、キヤベリーなどに出入する青年はありませんか

(半雨) それは何とも言へないが、青年会委員の娛樂といふだけの目標で、吾々は物と考へてゐますから、他の方面との関係も考慮する必要も今の所ないよう、

(糸音) いろいろ考へておられます、ありがたう存じます、(ここをジャンプしてやる)

血だるま大福團

旧臘ビリア区信太共済さん方のカトラクタジアーボ(仮名)君、借金まきで、どうと一はい飲んで信太えの次男に文句をいけ、幼のた、二三言すたもんをやつてゐる、件がジアーボ悪党の本性を現はし、矢へ庭にたくし持ったる、又渡又五寸の石ッッで、次男を石にウリつけた、右腕を曲けて受けて、めたがみ先、は二の腕を深くえや、て、ま、次男を心死にさせて、左手を以て敵のフアッカを押え、左足の木外刈りで相手の倒れる隙に敵の脇部を射した、ので彼は悲鳴をあげてのつて、つた、大に驚いたカマコト連、二ニかけつけたが、次男君の血だるま形相物すくハッタと、はかり、配みかへした、で、只、あ、水、少くと言ふばかり、二人とも重傷なので、取あえず、オ、クルスのサキ、タカホに携さ、之、ん、だ、が、生、命、に、別、状、は、な、き、由、次、男、君、は、以、浦、正、当、防、衛、に、罪、け、な、い、が、最、村、に、の、り、が、あ、る、双、傷、沙、汰、お、互、は、用心して、ま、さ、未、然、に、防、ぐ、う、は、急、し、た、い、もの、ある、因、に、次、男、君、に、は、周、圍、の、同、情、放、然、と、い、て、果、し、不、幸、中、の、幸、を、た、は、し、て、お、る、
(十二月六日の傍事)

急募

男女事務員 及事務見習

二名

将来商工業に進むために

常識として商業事務員に

ついで、置こうと思ふ人を望む、

本人又は保証人面談

商業事務所 浦又ハ 西まで

カニオン

シボレー49年型 五トン積、ロダ、ウツカラ、格安にて至急譲り度し、値段、交渉方法、御相談に応ず、
商業事務所内 浦